

平成 2 7 年度 事業報告書

社会福祉法人ユーカーリ福祉会

市川市立市川南保育園

〒 2 7 2 - 0 0 3 3

千葉県市川市市川南 4 - 1 - 1 5

電話 0 4 7 - 3 2 4 - 1 1 5 5

F A X 0 4 7 - 3 2 4 - 1 1 3 9

はじめに

園長 高橋 いずみ

市川市から運営を委託され公設民営として、平成27年度市川南保育園がスタートしました。引き継ぎ職員を中心に社会福祉法人ユーカリ福祉会の一人ひとりを大切にする保育が始まりました。保育では普段の保育を中心に子どもたちが安心してすごせるようにすると共に担当制保育や異年齢児交流も取り入れ、リズムあそびや運動遊びなども少しずつ取り入れることができました。給食では市川市の統一献立に沿い提供し、アレルギー児の対応食など安全に配慮し丁寧に事故なく進めることができました。また、食育活動も取り入れることができました。保健では、看護師を中心に衛生に気を付け感染症予防に努めました。1年目ということで保育士それぞれの保育観の違いがあり一つひとつに職員の迷いなど多く生まれましたが、会議など、話し合いを多く重ねるごとに少しずつ意思統一することができてきました。まだまだ課題が多いと感じますが今後も話し合いの機会を多く持ち連携しながら意思統一を図って保育や環境を整えていきたいです。

施設の環境については、修繕の必要な個所が多いので、市川市と連携しながら子どもたちや保護者や職員が使用しやすい環境になるようにしているところです。今後も市川市に相談しながら、進めていきたいと思います。

保護者との信頼関係については職員一丸となって丁寧に対応するよう努めていったことで安心してあずけてもらえるようになりました。また、父母会を立ち上げてくださり保護者との連携が取りやすくなりました。今後も連携・協力し合いながら運営していきます。

来年度より園内の一室を使用し、病後児保育を行うことになったことで3回にわたり保護者、市川市、法人の三者協議会を行い話し合いを深めてきました。保護者の理解を得ることができ平成28年度年度途中より病後児保育を進めていくこととなりました。今後も保護者や地域の方に丁寧に説明しながら進めていきたいと思っています。また、利用する一室の改修工事が少しずつ進んでいます。市川市と協力し合いより良い施設となるよう努力していきます。

市川市では、待機児童が多いこともあり保育園見学者も毎月増えていきました。見学者の方に丁寧説明したり園に親子で遊びに来れる地域交流などのお誘いをし地域の育児支援に努力してきました。

皆様のご協力のお陰で、すべての事業を無事に進めることができました。

平成27年度 市川南保育園職員体制

- ・園 長 1名
- ・事務 長 1名
- ・保育主任 1名
- ・調理責任者 1名
- ・0歳児担任（さくらんぼ組）
4名
- ・1歳児担任（いちご組）
4名
- ・2歳児担任（りんご組）
5名
- ・3歳児担任（れもん組）
2名
- ・4歳児担任（すいか組）
2名
- ・5歳児担任（ぶどう組）
2名
- ・フリー保育士 2名
- ・看護師 1名
- ・給食調理 4名
- ・保育補助 28名

平成27年度 退職・異動職員

- ・正 規 退職 1名
異動 1名
- ・非常勤 退職 1名

園児構成

月別園児構成表（初日在籍人数）

	産明け・0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
4月	12	18	23	25	26	28	132
5月	12	18	23	25	26	28	132
6月	12	18	23	25	25	28	131
7月	12	20	23	25	25	28	133
8月	12	20	23	25	24	28	132
9月	12	20	23	25	24	28	132
10月	12	20	23	24	24	28	131
11月	12	20	24	25	25	28	134
12月	12	20	24	25	26	28	135
1月	12	20	24	25	26	28	135
2月	12	20	24	25	26	28	135
3月	12	20	24	25	26	28	135

保育内容

保育目標・方針・コンセプト

保育目標 豊かなところと じょうぶなからだ

みんなで仲良く、元気に遊べる子ども

- 保育園は、生活の場です。子どもたちを温かく受けとめ、一人ひとりの持っている自分でやろうとする気持ちを大切に、人として生きる力の基礎を育みます。
- 毎日が生き生きと充実した遊びにつながるよう、乳幼児期にふさわしい体験をし、豊かな心を養っていきます。
- 集団生活の中で、いろいろな遊びを経験したり、人とふれあいながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさや思いやりの心を育てていきます。

子どもたちのしあわせのための約束

- * やさしい心を育み、勇気をもって、やさしさを実践できる子どもに育てる。
- * 自主性・主体性を育てる集団づくりのなか、自分の目でみて、自分の耳できいて、自分の頭で考えて、いきいきと行動できる子どもに育てる。
- * 幼い命の成長に添おうとするすべての人々の叡智と、きめ細やかな養護、適切な援助、家庭支援等、誠実な実践によって共に学び合う。
- * 鋭い感受性を持った創造的な芸術家としての子ども、深い人間愛を身につけようとする
- * 生活者としての子ども、そのかけがえのない命が表現するよろこびを受容し、よろこびとかなしみを共有して行く。
- * 身体的にも精神的にも社会的にも健やかな子どもたちに育てる。

平成27年度 地域交流

月 日	時 間	内 容
4月24日(金)	10:00～11:30	園庭あそび
5月12日(火)	10:00～11:30	よみきかせの会
6月12日(金)	10:00～11:30	小麦粉粘土
7月9日(木)	10:00～11:30	絵の具あそび
8月6日(木)	11:30～12:00	水あそび
9月10日(木)	10:00～11:30	発育測定・看護師相談
10月10日(土)	9:00～自由解散	運動会(未就園児種目に参加)
11月10日(火)	10:00～11:30	歯みがき指導・園庭あそび
12月17日(木)	10:00～11:30	クリスマス工作・園庭あそび
1月14日(木)	10:30～11:30	離乳食講座
2月26日(金)	10:00～11:30	給食試食・園庭あそび
3月17日(木)	10:00～11:30	発育測定・園児とあそぼう会

※4～6月、10月(13日以降)は平日11:30～15:00まで園庭開放

委員会、係り活動報告

(1) 安全点検委員会

月1回の園内安全点検を通して、環境の安全管理を行う。また、子どもたちに安全教室を年1回実施し、安全に過ごせるように伝えていった。

(2) 地域活動委員会

園だよりを地域の皆様にみていただき、保育園と地域をつなげる広報活動を行った。
全12回の地域親子を通して園庭開放や給食の試食などを行った。

(3) 親睦委員会

冠婚葬祭の際のマニュアル作成。また、集金、メッセージカードの配布、アルバムの作成などを行った。
職員研修、学習会係

(4) 研修、園内学習委員会

各クラスごとに学習テーマを決め、1年間を通じて話し合い、実践を通して研究した。外部研修にも積極的に参加し、職員の資質の向上を図った。

(5) 防災安全係り

年12回の避難訓練と年2回の防災訓練を実施した。
非常食の確認。非常食体験の際には実際園にある非常食をたべる経験を取り入れた。

(6) 楽しい食農委員会

・春、秋に野菜作りを実施した。水やりなどを積極的に行い、収穫の時にはその場で食べたり、給食室で調

理して食べた。

- ・四季の花をクラスごとに育てた。

(7) 広報委員会

保護者や地域の皆様へ保育園の様子を伝えた。

- ・園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりを月一回発行した。
- ・保育園玄関前掲示にて地域への広報をした。
- ・保育園内の掲示物を、分かりやすく整理した。

(8) 父母の会

父母の会が立ち上がり行事の運営等でお手伝いなどいただき、園の行事を協力し合いながら進めることができた。

(9) 園庭整備委員会

月1回園庭及び玩具の整備を行い、職員全員で園庭整備を行った。市川市により月1回放射能測定を行い、保護者に伝えていった。また、集会を開き、子どもたちと園庭の使い方の確認を行った。

(10) 衛生管理委員会

各クラスが清潔な環境を保っているかを点検し、共有、掃除を行ってきた。

毎月作業日にみんなで掃除を行い、全体的に掃除に対する意識が高まった。

実習生の受け入れ

学校名	学年	実習期間
昭和学院短期大学	2年	平成27年11月9日～平成27年11月20日
昭和学院短期大学	2年	平成28年 2月1日～平成28年2月15日
聖徳大学	3年	平成28年 2月15日～平成28年2月29日

ボランティアの受け入れ

小中高校生・大学生が保育園に職場体験やボランティアに来園し、園児との交流を行う。

中高年ボランティアの受け入れ

大工、おはなしの会、保育ボランティアの受け入れを行った。

青空キッズの受け入れ（障害児童）

市川市障害サポート施設に通う児童2名の定期的交流を行った。

年間会議

定例会議・乳児会議・幼児会議・クラス会議・給食会議・保健会議・委員会会議・管理職会議 月1回
行事会議・地域交流会議 随時

平成27年度 年間行事報告

月	園 行 事	
4月	1日(水)	入園・進級を祝う会
	15日(水)	保護者懇談会
5月	1日(金)	こどもの日の集い
	15日(金)	おにぎり遠足
	22日(金)	消防訓練
6月	16日(火)	おみせやさんごっこ
	19日～23日	保育参観(3・4・5歳児クラス)
	24日～26日	保育参観(0・1・2歳児クラス)
	30日(火)	プール開き
7月	7日(火)	七夕の集い
	17日(金)～18日(土)	お泊り保育
8月	28日(金)	プール閉い
9月	4日(金)	消防訓練
	11日(金)	交通安全教室
	18日(金)	ほのぼの会
10月	10日(土)	運動会 場所:大洲小学校校庭・雨天時体育館
	16日(金)	お弁当遠足(3歳児クラス) ☆お弁当持参
	21日(水)	バス遠足(4歳児クラス) ☆お弁当持参
	29日(水)	バス遠足 (5歳児クラス) ☆お弁当持参
	30日(金)	ハロウィン
11月	クラスごとに実施	はみがき指導(2, 3, 4, 5歳児)
	20日(金)	秋のお楽しみ会
	27日(金)	消防音楽隊
12月	3日(木)	保育参観(3歳児クラス)
	8日(火)	保育参観(4歳児クラス)
	10日(木)	保育参観(5歳児クラス)
	24日(木)	クリスマス会
1月	8日(金)	もちつき会
2月	3日(水)	節分会
	13日(金)	0, 1歳保育参観・参加 2, 3, 4, 5歳クラス懇談会
3月	3日(木)	ひなまつり会
	10日(火)	お別れ会
3月	17日(木)	卒園式(5歳児保護者のみ)
	23日(水)	お別れ遠足(3・4・5歳児クラス異年齢児交流)

食育実施報告

市川南保育園

実施月	対象児童	活動内容	実施者	給食室だより
4月		前年度と献立が大きく変わり、 新しい食材（納豆・するめ・プルーンなど）を 取り入れ少しずつ慣れていった。		職員紹介 離乳食
5月	5歳 5歳	クッキング（ピザトースト） ちまき作り	君崎 内田	こどもの日献立 給食の栄養給与目標
6月	3・4歳 1～5歳 5歳	クッキング（サンドイッチ・おにぎり） 季節の果実を楽しむ（梅干し作り） 梅ジュース作り	君崎 内田	ちまき作り ピザトースト作り
7月	1～4歳 5歳	季節の食材に触れる 枝豆の枝取り・トウモロコシの皮むき） お泊り保育のための包丁練習	松尾	梅干し作り（仕込み） サンドイッチ作り おにぎり作り
8月	2歳 3～5歳	野菜に興味を持つ（野菜のおなか） 野菜に興味を持つ（なぞなぞBOX・三群分け）	君崎 織田	梅干し（缶す作業） 枝豆はずし・とうも ろこし皮むき
9月	1～5歳 3歳 4・5歳	季節の食材に触れる（さんま・さつまいも） クッキング（プリン型抜き） クッキング（おはぎ）	内田 君崎	野菜のおなか なぞなぞBOX
10月	3歳	箸指導	内田	お月見献立、秋の食材に触れる おはぎ作り・プリン型抜き
11月	1～5歳	クッキング（1歳・きのこさき、2歳・サンドイッチ） （4歳・メキシカンチーズトースト） （5歳・スイートポテト）	松尾	箸指導 園で収穫の安穏芋 で焼き芋
12月	2・3歳 2～5歳 5歳 4歳	クッキング（ローンご飯おにぎり） クッキング（クリスマスカップケーキのデコレーション） 餅花・鏡餅づくり おせち料理について	松尾・内田 松尾・織田 君崎・内田 君崎 君崎	秋のお楽しみ会（焼き芋） きのこさき サンドイッチ作り メキシカンチーズトースト
1月	1～5歳 5歳	クッキング（1歳・ご飯のきなこがけ、きのこさき） （2歳・ご飯の型抜き、3歳・コーントースト） （4歳・ロールサンド、5歳・ご飯作り） 食事マナーについて	君崎 君崎	スイートポテト クリスマスメニュー 餅花作り
2月	1～5歳	味噌づくり	内田	節分の鬼ランチ コーントースト・ご飯作り
3月	3～5歳	クッキング（3歳・即席漬け、4歳・おにぎり） （5歳・ピザづくり）	松尾	味噌づくり ひな祭り献立

給食室

(1)給食方針

- ①数多くの食品、調理法に慣れ、味覚形成と偏食防止をする。
- ②食品の持ち味を大切にし、塩味、甘味を控え薄味にする。（成人病予備群を作らない）
- ③種々の食品をバランス良く（量と質、主食、副食、汁物）食べる。

- ④食べる意欲や心を育てる環境や雰囲気を作る。
- ⑤適温給食を心掛ける。
- ⑥食事のマナーを覚えていく様、指導する。
- ⑦食器は全て安全な白磁器を使用する。
- ⑧アレルギー児や肥満児また障害児に対して、食事指導や相談、配慮をし、保育園でできる限り最大限のケアをする。

(2)献立内容

- ①行事食を取り入れ、日本の伝統食を体験することができた。
- ②市の統一献立に沿って献立を提供できた。

(3)離乳食

- ①個々の発達に合わせて、離乳食を進めることができた。
- ②食事のリズムを大切に、生活リズムを整えていく。
- ③色々な味や舌ざわりを楽しめるように食品の種類を増やした。
- ④自分で食べる楽しみを手づかみ食べから始めていった。

(4)災害時の非常食

- ①非常食の確認をし足りないものを備蓄した。
- ②賞味期限の確認を行い、必要に応じて交換した。(非常食体験の日に食べる)

(5)衛生管理

- ①給食施設の衛生管理について、研修に参加し、更なる衛生知識の向上に努めた。
- ②厚生労働省大量調理施設管理マニュアルに基づき点検、記録を行い衛生面に十分に配慮した。
- ③給食に関わる職員は検便検査を実施した。

家族との連絡

- ①給食の展示をし、展示ケースを見やすいものにした。
- ②給食伝言板(当日の給食の様子を伝えた)
- ③食物アレルギー対応食は生活管理指導表に基づいて行った。
- ④献立表、楽しく食べようニュース、園だより(給食室から)を発行した。

7、給与栄養目標量

	エネルギー(kcal)	たんぱく質(g)	脂質(g)	基準値に対する割合
1～2歳児	470	19	13	50%
3～5歳児	575	24	16	45%

保健

- ・施設内の定期的な清掃・消毒の実施と実施状況の確認により、安全で衛生的な環境を保持できるよう努めた。
- ・在園児の健康状態を出席簿や家庭からの連絡内容等もふまえて把握し、周囲の人にうつしやすい疾患や、よく見られる症状の発生状況を取りまとめ、施設内の掲示物にて発信した。毎月配布する保育園だより等で、必要

な保健情報を発信し、施設利用者(園児・保護者・職員)の罹患予防に努めた。また、発症件数によっては嘱託医・市川市へ報告し、連携をとりながら対応した。

- ・健康増進と罹患予防活動として、歯みがきの必要性・重要性を園児へ伝えたり、地域交流の集いにおいて、近隣在住の未就学児とその保護者へ歯の衛生情報を伝えた。
- ・園内に配置している保健衛生材料の管理を徹底し、各設置箇所への払出状況から清掃・消毒業務内容の見直しや、事故防止のための環境整備の強化に結び付ける指標として活用した。
- ・保健の各種検査・診察をスケジュールに沿って実施し、在園児の健康管理と健康増進業務に活用した。

保健の各種検査・診察のスケジュールと内容

項目	対象	日程	内容や実施結果
内科検診	全園児	5月7日 10月15日	各園児の健康面における情報や園内の各種感染症の発症状況を嘱託医と共有しながら、実施した。所見があった園児へは嘱託医の指示のもと保護者へ報告し、その後の経過観察につなげた。
産休明け検診	産休明け園児	毎月1回	
眼科検診	全園児	5月26日	所見があった園児へは嘱託医の指示のもと保護者へ報告し、その後の経過観察につなげた。当日受診出来なかった園児へは、後日嘱託医の医院へ受診してもらうよう働き掛け、受診率を高めた。
歯科検診	全園児	5月20日 11月10日	当日までの間の在園中の歯とその周囲の打撲等の怪我もふまえた上での検診を依頼し、現状を把握し、所見があった園児へは嘱託医の指示のもと保護者へ報告し、その後の経過観察につなげた。
発育測定	産明け・0歳 1・2歳児 3・4・5歳児	毎月 隔月 3カ月毎	身長・体重・頭囲の測定
蟯虫卵検査	全園児	5月 10月	2回採卵式。異常所見なし。
尿検査	3.4.5歳	6月	異常所見なし。
歯磨き指導	2歳	11月18日	歯の模型を用いて歯磨きの必要性和安全に歯磨きをするためのルールを伝えた。各自による歯磨き終了後は職員による仕上げ磨きを実施した。
検便検査	全職員	毎月1回 内、給食作成業務従事者は5～10月は2回/月	
視力測定	3.4.5歳	5月 10月	ランドルト環単独指標による検査を実施した。 検査結果は A(1.0 まで見える)・B(0.7 以上 1.0 未満)・C(0.3 以上 0.7 未満)・D(0.3 未満)の4段階で報告した。

安全管理

避難訓練実施報告

月日	想定	発生場所	避難場所	実施結果	備考
4月28日	地震・火災	給食室	園庭	落ち着いて避難できた 職員間の動きの確認ができた	
5月22日	地震・火災	給食室	園庭	遊びの途中でも放送が入ると耳を傾け、落ち着いて行動できた	
6月29日	火災	園門横民家	0歳児前テラス	落ち着いて避難できた	朝の時間外保育中
7月22日	火災・地震 津波	園門横民家	2階テラス	落ち着いて行動できたが、準備に時間がかかる部分もある	
8月12日	火災	園庭横民家	0歳児室前廊下	放送で驚く児もいたが、声かけ等により落ち着いて避難できた	午後時間外保育中
9月4日	地震・火災	給食室	園庭	放送が聞き取りにくいことがある	
10月7日	火災	給食室	園庭	5歳児は放送が入ると声かけもなしに整列することができた	
11月12日	火災	調乳室	大洲小学校	小学校まで落ち着いて避難できた	非常食体験
12月14日	火災			落ち着いて避難できた 0～1歳児は避難用のバギーがないと不安	予告なし
1月20日	火災 竜巻等			初めて使用する避難用すべり台に興奮する児もいた	予告なし
2月24日	火災	園門横民家	ホール	放送の聞き取り間違いにより、避難が遅れたクラスがあったため、内容を見直す	
3月28日	地震・火災	給食室	大洲小学校	落ち着いて行動でき、5歳児は下の年齢の児をリードする姿も見られた	

不審者訓練実施報告

- ・毎月不審者訓練を行う。
- ・不審者に対する合言葉（呼称）を決めた。
- ・7月、3月の訓練後、不審者教室を実施（幼児）
- ・10月、2月は、職員が不審者役となって実施。3月の不審者役は警察の方に依頼。
- ・8月には警察の方に来園していただき、防犯訓練を受けた。
- ・施設のセキュリティは不安が残る。今後、防犯カメラや電子錠の設置を行う。

月日	発生時刻	ねらい・反省
4月24日	10:00	・保育者の指示に従い、避難することに慣れる。 ・保育者同士の動きの確認。 ・放送の情報不足により、状況がわかりにくかった。
5月20日	16:00	・裏口から侵入された際の避難場所、連絡方法の確認。 ・放送が聞こえにくかった。
6月 (日は各クラス)	各クラス	・園外保育中に不審者と遭遇した際の連絡、避難方法についての検討。 ・職員間の連携を再確認できた。
7月23日	9:30	・1歳児組テラスから侵入された際の避難場所、連絡方法の確認。 ・不審者とはどういう者かと、気を付ける点を知る（不審者教室）
8月26日	7:45	・マニュアルに基づき、朝の延長保育中、保育者の指示に従い、慌てずに対応する。
9月11日	18:45	・マニュアルに基づき、夕方の延長保育中、保育者の指示に従い、慌てずに対応する。 ・バリケードを作り、子どもたちが不安にならないよう状況を伝えるようにした。パート職員ともうまく連携を取れた。
10月28日	10:00	・裏口から侵入された際の避難場所、連絡方法の確認。 ・放送を聞き、保育者と一緒に安全な場所へ避難する。
11月 (日は各クラス)	各クラス	・マニュアルに基づき、保育者の指示に従い、安全な場所に避難する（園外保育中の遭遇） ・落ち着いて対応することができた。
12月17日	8:00	・朝の延長保育中、保育者の指示に従い、慌てずに避難する。
1月22日	17:45	・夕方の延長保育中、保育者の指示に従い、慌てずに避難する。
2月19日	15:20	・2階テラスから侵入された際の連絡、避難方法の確認。 ・放送を聞き、保育者の指示に従い、静かに避難する。 ・各自でその状況判断もでき、落ち着いて対応できた。
3月18日	10:30	・放送を聞き、保育者の指示に従い、速やかに避難する。 ・5歳児は一人で行動する際の注意点を知る（不審者教室） ・避難はできたが、不審者への対応には課題が残った。

平成 27 年度職員研修

	日時	研修名	参加者人数
1	5月27日	栄養士会総会 日本の食事摂取基準	1名
2	6月2日	地域交流年間計画の実施にむけて	1名
3	6月17日～19日	第 58 回全国私立保育園研究大会 未来を創る子どもの生活を育む アートが開く子どもの世界 大人の生活	1名
4	6月30日	防災について	1名
5	7月3日	就学に備えて	1名
6	7月6日	公立市立全体研修会	13名
7	8月18日	病児・病後児保育担当者研修会	1名
8	9月4日	給食業務に役立つ必要なマナーとコミュニケーション	1名
9	10月22日	わらべうた研修	9名
10	10月26日	アレルギー対応における給食	2名
11	10月30日	社会福祉施設における感染症対策研修会	1名
12	11月5日	人事労務管理研修	1名
14	11月11日	ファーストサインの効能とレクチャー	2名
15	11月13日	発達障害実習研修	1名
16	11月17日	発達障害実習研修	1名
17	11月18日～20日	市川・子ども子育て支援施設協会研修	1名
18	11月28日	大人のためのわらべうた	4名
19	12月3日	新しくなった安全対策	2名
20	12月9日	最新厨房機器を活用した新調理システム実演と試食	1名
21	12月11日	発達障害の理解とその保護者への対応	2名
22	12月15日	アレルギー研修会	1名
23	12月15日	発達障害実習研修	1名
24	12月25日	アレルギー研修会	1名
25	2月5日	スキムミルクを使った調理	2名